

丹後市民局

ルックルック！

NEWS
 R4.2月号

「百度打ち」

江戸時代から続く間人・岡成地区の伝統行事。戦中・戦後の一時期は途絶えていたが、昭和40年代に伝統を後世に継承していくため復活。間人地区で相撲が盛んであったことから、化粧まわしを着けて行うようになったと言われているこの行事は、地域の厄よけや豊漁、無病息災を祈願して、連綿と地域の若者によって受け継がれています。

丹後町の人口		
	R4.1月末	前月比
0-14歳	415	0
15-64歳	2,228	△5
65歳~	2,127	△7
計	4,770	△12

↑丹後市民局ルックルックNEWSのバックナンバーはこちら

丹後市民局職員 小西晋哉の

百度打ち体験レポート



岡成地区の伝統行事「百度打ち」が2月6日(日)に執り行われました。当日は早朝から時折雪が強まる悪天候で、岡成公民館から岡成地内を巡回し早尾神社を参拝するコースに変更しましたが、前日からの雪が路面に残る中、化粧まわし姿の12人が「わっしょい、わっしょい」の掛け声とともに、はだしやわらじで走り抜きました。

百度打ちは、地域の厄よけや豊漁、無病息災を祈願するもので、当職も「城嶋ヶ崎」の化粧まわしを身にまとい、特別に参加させていただきました。寒さに震え、「わっしょい」の掛け声が出せず、また、一步踏み出すたびにかじかむ足をこらえながら、コロナ禍の早期収束を願い早尾神社を参拝させていただきました。当職の体験を快く受け入れてくださいました岡成地区の皆様へ深く感謝申し上げます。



トレーニングが趣味の地域づくり支援員吉岡秀真が「丹後町な体操」を紹介するコーナー！

たんご健康体操

第22回「百度打ちの型 其の弐」

今年の百度打ちは雪が積もる中での疾走でした。この体操ではハムストリングスという太腿の後ろの筋肉が刺激されます。ハムストリングスを鍛えると走力アップや脚痩せが期待できます。

- ① 壁や手すりを利用して体を支え、片足を少し後ろに曲げます。
- ② ゆっくり膝を曲げます。この時に、膝が前に出ないようにするのがポイントです。
- ③ ゆっくり①の状態に戻して1回です。

この動きを、両足5回〜10回×2〜3セットを目安に行ってください。

(地域づくり支援員 吉岡秀真)



掲載団体や話題を大募集！

スポーツ、文化芸術、サークル活動など、皆さんに広く知ってほしいニュースがある団体や個人を募集します。掲載を希望される方は、丹後市民局までご連絡をお願いします。

【連絡先】京丹後市市長公室丹後市民局（TEL0772-69-0714）

※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。

丹後町な人(前編)

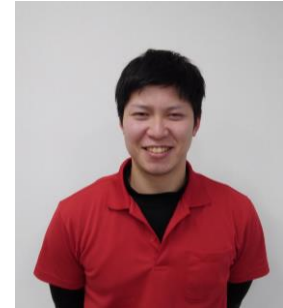


の展開が生まれたり、一人では出来ないことが実現したり、人々との繋がりの大切さに気づかせてもらいました。中でも「夢が叶えられる町、夢を叶えてくれる人がいる町」という豊栄地域のスローガンは私にとって大きな目標になっています。地域づくり支援員としての活動は、とても貴重な経験をさせていただいたと思っています。

特に丹後町内の駐在さんが地域の子供たち向けに行った防犯イベントでは、子どもが育つ町づくりをいかに私たち大人が責任をもって担わなければならないのかを考えさせられました。

丹後町な人(前編)

地域づくり支援員
よしおか 秀真さん



今回は丹後市民局において令和元年9月より「地域づくり支援員」として活動してきた吉岡秀真さんです。本誌でもユニークな「たんご健康体操」の執筆でおなじみです。この3月で卒業し個人事業を始められます。前編では、豊栄地域に生まれ育ち支援員を経験した彼が感じた丹後町についてお話を聞きました。今回はインタビュー形式でお届けします。

（前川） まず地域づくり支援員になろうと思った経緯と活動内容を教えてくださいませんか？

（吉岡） 令和元年3月に母校の豊栄小学校が統廃合されました。慣れ親しんだ地域の景色から年々子供たちの姿が減ってきていることは肌で

感じていましたし、お祭りなどの行事も少子化から担い手不足が問題になっていました。地元が大好きな私は自分にも地域を元気にする手助けができないか？と思い志願しました。まずは丹後市民局での事務仕事を教わり、電話対応や各区の行事補佐と慣れない仕事に苦労しました。この2年半で、まるっぽ人間プロジェクトや豊栄まちづくり委員会、龍谷大学今里ゼミのワークショップ、宇川スマート定住促進協議会などに携わり、丹後町の地域づくりを学びました。地域づくり支援員という立場が出来る限り地域の皆さんに近い存在でありたいという心がけていましたね。



まるっぽ人間プロジェクト推進協議会とは？

まるっぽ人間プロジェクト推進協議会は、関人区を中心に京丹後市内の団体が集まり、関人地域で新たな取組を計画することで、地域振興や農林水産業・観光・商工業振興、地域住民の暮らしの充実、移住定住促進、さらに人口減少問題の改善を目的として今年8月に設立しました。国の交付金を活用し、本年度から3年間、まちづくりに向け取り組んでいきます。

（前川） 主に地元の豊栄地域ではどのような取り組みをされましたか？新たな気づきや心に残るエピソードがあれば教えてください。

（吉岡） 佛教大学の学生と一緒に豊栄地域の魅力を再発見する地域ヒアリングを行う中で、農家さんや伝統工芸家さん、お寺の住職さんなど各分野で地域のために意欲的に活躍する方々に出会うことができました。みなさん其々に地域の未来を真剣に考えておられて、思い思いに行動されている姿に感銘を受けました。また、横の繋がりができることで新しい発想



経ヶ岬灯台遊歩道看板（龍谷大学今里ゼミ、灯台保存会）

お知らせ

吉岡秀真さんが講師を務める「健康づくりのためのレクリエーション講座」が開催されます。申込期間は終了していますが、若干名の参加が可能ですのでお申込みください。

◎とき：3月4日（金） 13時30分～15時00分
◎参加費：無料
◎申込：62-4128 市社会福祉協議会 峰山支所
◎場所：松風苑

る。それが丹後町の未来なのかな？と思います。第35号では後編として卒業後の展望と個人事業の立ち上げについてお聞きしたいと思います。

（地域おこし協力隊 前川 典代）